

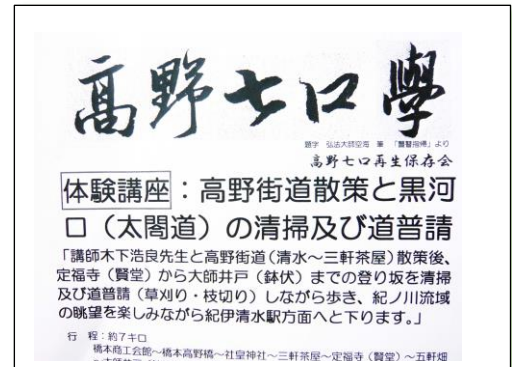
## 黒河(くろこ)の会便り 第 4 号

### ◆「高野七口學」

和歌山県振興局の協力のもと「高野七口再生保存会」が立ち上がりました。この会は高野山から放射状に伸びている高野七口のなかでも“黒河道”のように放置された状態の参詣道を整備再生し、多くの人が歩けるような道にする事を目的に設立されたもので橋本市に本部を置いています。

昨年 12 月 14 日、高野山大学名誉教授 山蔭加春夫氏をお招きし第 1 回研修会として「高野参詣道の歴史」講演が実施されました。

第 2 回目は 1 月 18 日。高野山大学の木下浩良氏による「高野山町石と奥の院の大名墓について」の講演のあと、引き続き体験講座として「高野街道散策と黒河口（太閤道）の清掃及び道普請」が行われました。



高野山大学の木下氏、振興局の入谷課長、橋本市の歴史家瀬崎先生、再生保存会池田会長、児玉事務局長、朝日新聞橋本支局中田記者も参加され、鋸や鎌などを手にする再生保存会のメンバーとともに五軒畑から大師の井戸（鉢伏）までの道普請を行いました。



この日は「ふる里の山に花を」の会員による桜苗木の植樹準備の日とも重なり、地域に思いを寄せる皆さん同志、和やかに言葉を交わしながらの作業となりました。

第 3 回目は 2 月 15 日 和歌山大学観光学部教授 尾久土 正巳氏の「宇宙と曼荼羅」の講演を予定しています。（場所 橋本地区公民館研修室）

- ◆此の再生保存会では数有る放置された参詣道の中から、先ずは黒河道を対象に取り組んでいます。「黒河の会」でも積極的に協力していきたいと思えます。なお、朝日新聞では今年の課題として「世界遺産としての黒河道」を取り上げるそうです。
- ◆春には、高野七口再生保存会と共に「黒河道を歩く会」を計画したいと思っております。
- ◆「高野七口再生保存会」では会員を募っています。お問い合わせ、入会・規約等ご希望の方は山本一清までお気軽にお問い合わせください。